

ふくしま火山旅

100 年続く盆栽と、1000 年続く温泉の物語

[磐梯朝日国立公園 / 磐梯吾妻・猪苗代地域]

ADATARA AZUMA NATURE CENTER

安達太良・吾妻 自然センター（合同会社歩く東北研究所）

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

国立公園のストーリー（磐梯朝日国立公園 / 磐梯吾妻・猪苗代地域）

古の姿を守り続ける遼遠の花々、変わらずにはいられない火山の大地

磐梯吾妻・猪苗代地域は、山形県と福島県に跨っており、磐梯山とその北側の裏磐梯を有する磐梯地区、西吾妻山を最高峰とする吾妻連峰と安達太良山を包括する吾妻地区、猪苗代湖を包括する猪苗代地区の3地区に分けられる。磐梯地区は、明治に噴火した磐梯山の荒々しい山肌とその噴火によって形成された裏磐梯の300とも言われる湖沼群が特有の景観を呈している。吾妻地区は、2,000m級の新旧火山が連なり、オオシラビンなどの天然林が広がり、山中には湿原が点在し、地区内には数多くの温泉が湧出している。また、東側の安達太良山も荒涼とした火口原が広がっている。猪苗代地区は、磐梯山麓に位置し、日本で4番目の面積を誇る広大な湖である猪苗代湖からなり、冬期にはコハクチョウをはじめとする渡り鳥の飛来地となっている。磐梯吾妻・猪苗代地域の主要な保護対象は磐梯山の爆裂火口、五色沼をはじめとする火山性堰止湖沼群並びに火山群峰である吾妻連峰及び安達太良連峰であり、風致を維持するために必要な区域を特別地域に指定する。吾妻連峰（吾妻山稜）、安達太良山（沼ノ平）、裏磐梯（五色沼）、磐梯山等の原生的自然景観を保護するために必要な区域は、特別保護地区に指定する。また、特別保護地区に準ずる景観を有する区域は第一種特別地域に指定する。鎌沼及び五色沼については、水環境を保全するため、指定湖沼に指定する。浄土平へのスノーモービル乗入れを防止し、高山植物等の損傷を防止するため、スノーモービル乗入れのアクセス部及び乗り回しが予想される地域を車馬もしくは動力船の使用又は航空機の着陸を規制する地域に指定する。本地域は、自然及び山岳地や湖沼付近からの眺望を求めて自然探勝、登山、スキー、温泉などに福島県、山形県、宮城県及び首都圏から自家用車で訪れる利用者が多い。利用拠点とするため、浄土平及び裏磐梯を集団施設地区に指定し、適切な利用のための施設を集团的に整備する。

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

本事業・本ツアーのストーリー（来訪者と共有したい価値）

1) BONSAI TRAIL：東吾妻エリアの「盆栽トレイル」

噴火により積層した火山灰土や礫、一年を通して吹きつける強い西風、そして半年が雪で閉ざされる冰雪などが重なり植物の生育環境としては非常に厳しい条件が重なる東吾妻。その厳しい環境下で逞しく自生する吾妻五葉松は、地の侵食を受け入れながら自らの姿も変容させてきた。それが、他の地域では見ることのできない巨大な「根上り」の姿であり、その造形を100年近く前から参照して作られてきた盆栽が評価を受けるようになり「Natural style」の手本として技術と共に海をわたって世界に広がっている。今では「Neagari」として海外の盆栽作家やファンにも知られる吾妻五葉松やその環境、そして百年・三代渡って継承されてきた盆栽の姿に触れる時間をBONSAI TRAILとして紹介する。

2) ONSEN TRAIL：安達太良エリアの「温泉トレイル」

温泉場としてのルーツを遡ると1200年以上前の平安時代からの記録が残っている「岳温泉（だけおんせん）」。

現在は安達太良山の山麓に位置する温泉街も平安～江戸時代にかけては、標高1500mの地点に湯小屋が建ち並び、歓楽温泉場として遠くは水戸からの来湯客で賑わいを博したという。温泉場が終わりを迎えるのが200年前の1824年。安達太良連峰の1つ鉄山が崩れ、その温泉街は土砂の下敷きとなり多くの犠牲者が出る惨事に。その後は山麓に移転するものの戊辰戦争や火災などで3度の遷移を繰り返すことになる。それでも1000年以上、同じ源泉を使い続け、いつの世もそのお湯を管理する「湯守」がいる。何世代にもわたり守り続けてきたその安達太良が産む湯に触れ浸かる時間を ONSEN TRAIL として紹介する。

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

本事業で活用する資源とテーマ

1) BONSAI TRAIL : 東吾妻エリアの「盆栽トレイル」

《三世代約 100 年にわたり、実生から五葉松を育て盆栽をつくる技術を継承してきた、吾妻五葉松の「盆栽文化」に触れる山旅》

吾妻五葉松の盆栽を知った上で、そのルーツとなるエリアに足を踏み入れ、先人たちが見てきた盆栽のモチーフに触れることによって、従来はトレイル脇の植生でしかなかった五葉松の姿やその造形に価値を感じることができる。また、厳しい風雪によってできた幹や枝、根の形状は、このエリアの風の強さや積雪量を可視化するものでもあり、磐梯吾妻・猪苗代地域の自然環境について考える機会も与えてくれる。この山旅を通じて、自然の造形やありのままの姿を捉える日本人の美意識についての気づきを与えることができ、そのような文化を未来に残していくために次の世代に対してこの自然をどのように継承していくかということも含め考えていただく。

2) ONSEN TRAIL : 安達太良エリアの「温泉トレイル」

《1000 年間に幾度の災害を乗り越え、移転を繰り返しながらも湯守が源泉からの引湯を継承してきた「温泉文化」に触れる山旅》

1200 年以上の長い歴史がある温泉場「岳温泉（だけおんせん）」。長い歴史の中で幾多の大災難を乗り越え、温泉地の移転を繰り返しながらも、なぜ平安時代からこの温泉に浸かり、守ってきたのかを探訪する。江戸時代、この岳温泉は二本松藩下であり、遠くは水戸からの来湯客で賑わう歓楽温泉場として賑わっており、そこでは多くの酒も酌み交わされたであろう。当時の二本松城の郭内には 10 軒以上の酒蔵があった。当時 10 万石の城下町であったこと、そして安達太良山からの豊富な伏流水により日本酒の原材料となる「米と水」が潤沢にあったことも起因している。現在は日本最長と言われる 8 km もの距離を湯樋を繋いで引湯しているが、先人たちがそこまでしてこの湯を守ってきた所以を、温泉と酒を生む源流を訪ね、温泉に浸かって考えていただく。

3) VOLCANO TRAIL : 磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®

《「BONSAI TRAIL（東吾妻エリア）」と「ONSEN TRAIL（安達太良エリア）」を繋ぎ、活火山の情景と幾つもの温泉地をめぐる旅路》

猪苗代湖から始まり、磐梯山、裏磐梯、吾妻連峰、安達太良連峰をつなぐ総延長 約 250km のロングトレイル構想「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」。国立公園内を歩くためのトレイルであるとともに、山麓や裾野での暮らしや文化、産業などにも着目し、それらを繋げたストーリーを感じていただくための路として提唱していく。2023 年よりトレイルマップを公開した「ATA: Azuma to Adataru」ルートは、BONSAI TRAIL と ONSEN TRAIL を繋いだルートである。

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

望まれる来訪者の体験、来訪者の意識 / 行動変容

1) 「アクティビティ」ではなく「山の旅」としての意識づけ

現在の来訪者の行動の多くは、登山やハイキングなどのアクティビティとしての目的で国立公園を訪れている割合が大きく、国立公園の自然の恩恵の上に存在しているその土地の文化や人に触れるなど、旅として楽しむ来訪者の割合は少ない。これでは国立公園の魅力を伝えきれていないばかりか、自然資源と共に生きてきた産業に携わる事業者や従事者が減少し、将来的にインバウンドを含む来訪者の増加を受け入れるだけのキャパシティを確保できない。その兆しはすでに顕在化しており、体験を継続的にマネタイズし、体験を提供する側の人財の確保はもとより、個々のスキルの向上やネットワークの強化が求められる。そのためには、来訪者の意識や行動変容を促すことが必要ではあるが、まずは国立公園側の各種インフラやガイドを含む受け入れ側の行動変容が必要であり、そのためのプラットフォームとなる山旅のイメージを本事業を通じて構築していく必要がある。

2) 他の国立公園地域との繋がりや差分を楽しんでもらう

旅として国立公園を楽しんでもらうためには、「その土地ならではの」特徴を分解し、わかりやすくストーリーとして伝えていく必要がある。そのためには、自地域だけを見て内容を深化させるのではなく、共通する事象がある他地域との差分を考えることで、際立たせるべきストーリーが浮き彫りになってくるのではないかと考えている。また、このプロセスにより、日本の国立公園をある一定のフィルタリングで解説することにもなるため、国内外の来訪者に対して「日本の国立公園旅」として紹介し、各地域においてより長い滞在時間を確保（複数回の訪問を含め）することに繋がると考えている。そのため令和6年度の本事業においては、まずは自地域でのストーリーを掘り下げて商品化し、並行して共通するテーマが存在する他地域のリサーチも並行して実施する。その上で、令和7年度には、日本の国立公園をつなぐ山旅の実現を目指し、そのプロトタイピングの下地作りを実行する。

連携イメージ案：

- 同じ磐梯朝日国立公園内にある「修験 (YAMABUSHI TRAIL)」として = 磐梯朝日国立公園・出羽三山 朝日地域
- 東北の「海トレイル」～「山トレイル」として = 三陸復興国立公園 (みちのく潮風トレイル)
- 活火山を公園内に有し、火山の大地の恩恵と暮らす土地として = 阿蘇くじゅう国立公園

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

来訪者（ターゲット）

1) 自然・歴史・文化の魅力を経験価値として対価換算できる来訪者層

本事業で提案している「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」ツアーによる自然体験は、いずれも体験料だけを支払って数時間～終日で終わるアクティビティではなく、インタープリテーションを含む土地のストーリーを味わう滋味深いコンテンツであり、日帰りですべてを体験できる設定にはしていない。宿泊または繰り返しの訪問により、国立公園の自然、そしてその自然資源に繋がる文化や土地の人々との接点を含む経験価値を求め、その対価を感じることができる来訪客をメインターゲットとしている。最低1泊2日～3泊4日を想定し、インバウンド（欧米豪・台湾）を含むターゲットを見据えて商品造成を行う。また、日本国内に対しても未発表のストーリー体験であるため、国内在住者の中にもターゲットとなる潜在顧客が多く存在すると考えている。

2) ロングトレイルを通じてインタープリテーションの魅力を普及

本事業で造成するツアーは1) で記載したターゲットにフォーカスしていくものの、そのようなインタープリテーションによる魅力に気づき、そのような旅としての国立公園の利用をはじめの契機を提供していく必要があると考えている。2023年にリリースした「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」ATA: Azuma to Adatararouteは、ロングディスタンスハイキングのルートであるとともに、「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」を楽しんでもらうための仕掛けを盛り込んだ設計になっており、歩くための計画を立てる段階で、そのようなストーリーに必然的に触れるよう、情報提供のあり方や地図提供の仕方など含めコントロールしている。ATAルートは、歩くスピードを想定すると旅程的には、最低2泊～4泊を想定しており、そのためには宿泊場所を含め綿密な準備・計画が必要になり、歩き始める前から必然的にこの地域の情報を調べたり、多くの場合、安達太良・吾妻自然センターとの接点が発生するようになる。このような機会を通じて来訪者とのコミュニケーションを図っていくことができるため、いわゆる「登山」とは違い、来訪者のCRMを集積することもできる。そのようなコミュニケーションの機会を最大限に利用して、伝えたい価値に気づいてもらうことができるように努めていく。

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

ツアーの概要とメインの自然体験

1) BONSAI TRAIL : 東吾妻エリアの「盆栽トレイル」

《三世代約 100 年にわたり、実生から五葉松を育て盆栽をつくる技術を継承してきた、吾妻五葉松の「盆栽文化」に触れる山旅》

- ・実施主体 = 安達太良・吾妻 自然センター + ぼんさいや あべ
- ・種別 = ガイドツアー
- ・自然体験概要 = 吾妻五葉松の盆栽造形のルーツとなった吾妻の山中にある「根上り」を案内するガイド付きハイキング
ぼんさいや あべでの吾妻五葉の盆栽づくり体験、および盆栽園の見学（令和7年度より浄土平レストハウス内の特設コーナーも利用して実施）
- ・想定販売価格（2～6人まで）= 4万円~/日 × 滞在日数（最低1泊～）+ 宿泊滞在費

2) ONSEN TRAIL : 安達太良エリアの「温泉トレイル」

《1000 年間に幾度の災害を乗り越え、移転を繰り返しながらも湯守が源泉からの引湯を継承してきた「温泉文化」に触れる山旅》

- ・実施主体 = 安達太良・吾妻 自然センター + 一般社団法人岳温泉観光協会
- ・種別 = ガイドツアー
- ・体験概要 = 富士山よりも大きな直径 1.2km の噴火爆裂口や、江戸後期まで続いた安達太良山の中にある岳温泉街の遺構（現在の源泉地帯）を巡るガイド付きハイキング
安達太良の伏流水に触れるリバートレッキング
伏流水が流れ出る広大な水稲地帯を巡るグラベルライド
安達太良の融雪から 40 年かけて湧き出す伏流水に触れる酒蔵見学 など
- ・想定販売価格（2～6人まで）= 4万円~/日 × 滞在日数（最低1泊～）+ 宿泊滞在費

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

設定 KPI / KGI (令和6年度～)

1) KPI

- ・ 安達太良・吾妻 自然センターのブランドプロミスである「活用：保全＝50%：50%」。(※パーセンテージはそれにかかる工数の日数割合)
- ・ 地域経済にフォーカスしたツアー造成を行い、地域の資源・食材・人的リソースの利用などを含む域内調達率 50%以上
- ・ 高付加価値な商品販売を見据えた商品造成
 - 令和6年度に造成した商品のプロトタイプの販売実績を1件以上
 - 令和6年度中には造成した商品の販売（インバウンド向け）を開始
 - 令和7年度の販売件数5件（10名以上）、1件あたりの売上上代60万円/名＝合計600万円以上、事業主体の利益率50% / 地域経済還元40% / 保全活動費10%

2) KGI

- ・ 令和6年度中に、国内向けセラー3社・インバウンド向けバイヤー3社、継続商談先10社獲得
- ・ 令和6年度中に、インバウンド向けツアーの販売を開始：上代60万円/名（3泊4日）・2名～
- ・ 安達太良・吾妻 自然センターに所属するガイド（将来的な候補を含む）3名の育成（英語対応×2名・中国（台湾）語×1名）

磐梯朝日国立公園 | 事業概要

保護と利用の好循環

1) 活用：保全 = 50%：50% の実践

「活用：保全 = 50%：50%」をブランドプロミスとし、アドベンチャートラベルなど国立公園の利用日数と、登山道整備や携帯トイレブースの運用などを含む環境保全や、次世代のガイドやレンジャー育成などに費やす割合を等分（またはそれ以上）とし、次世代への継承を含む持続可能な国立公園の利活用のあり方を考え、その仕組みづくりを行う。

2) 「環境保全」への再投資

- ・ ツアー・イベントの売上の5～20%を国立公園の「環境保全費」として積み立てを行い、期中に精算金額と実施内容をSNS等を通じて公表。
- ・ 販売価格に対する保全費の割合を商品販売時に明示することにより、参加者が商品購入の時点で当該地域における環境保全への参加意識を醸成。
- ・ 各種イベントにおける企業・団体等からの協賛金等は、経費を除き全額を環境保全費に還元。
- ・ 安達太良・吾妻自然センターの活動に賛同する会員制度を作り、個人・企業会員を募ることによるネットワークの強化と会費の25%を環境保全費へ充当。
- ・ グッズの販売など特定商品の物販売上は、売上金額の10%～利益分全額までの範囲で、公園内の環境保全費として計上。

2) 「人財育成」への再投資

- ・ 将来的にこの地域でのガイドを希望している台湾の体育大学生をインターンシップ生として受け入れ、ガイド育成プログラムを実施。
- ・ 地域の小学校において、自分たちが暮らす国立公園の自然についての授業を実施。
- ・ 地域の大学との連携により、国立公園の動植物についてのフィールド観察や調査を通じて、大学が行っている研究成果を地域に還元するとともに、大学生のOJTの機会を創出（R7年度より具体化）。
- ・ 地方における人財確保が難しい時代背景において、副業やワーケーション等による労働形態やボランティアワークとしての人財が活躍するための場を提供し、必要に応じてナレッジの共有も図る。

磐梯朝日国立公園 | 事業実施体制



環境省・裏磐梯自然保護官事務所
(環境省・地域担当事務所)

安達太良・吾妻 自然センター
(全体企画プロデュース / 民間型ビジターセンター)

本事業での共同実施者

ランドオペレーター・セラー

合同会社歩く東北研究所
(全体企画コーディネーション)

(株) インアウトバウンド東北
(旅行商品の販売・手配全般)

ガイド・施設・交通

宿・飲食等事業者

プロモーション

バイヤー

合同会社歩く東北研究所
(スルーガイド)

有限会社花かんざし
(旅館宿泊・宿関係のコーディネーション)

アトラク東北 株式会社
(プロモーション・コンテンツ制作)

(株) インアウトバウンド東北
(日本国内・インバウンド向け)

ぼんさいや あべ
(スポットガイド)

(一社) 自然公園財団 浄土平支部
(浄土平野営場)

株式会社 三栄
(雑誌制作)

株式会社 Kammui
(インバウンド向け)

昭和タクシー株式会社
(移動交通 / 日本版ライドシェア)

(一社) 岳温泉観光協会
(岳温泉管理株式会社等の連携)

その他協力会社
株式会社 YAMAP
(オンラインメディア)

福島県 観光物産交流協会
(福島 DMC / 日本国内向け)

福島県施設管理株式会社
(観光案内施設)

その他 地域飲食店

株式会社ファイントラック
(イベオン)

(株) JR 東日本 VTS
(日本国内向け)

株式会社ライダス
(サイクル事業 アドバイザー)

その他 地域宿泊施設

株式会社ノマディクス
(イベントプロモーション)

創造旅行社股份有限公司
(台湾向け)

磐梯朝日国立公園 | 事業スケジュール

2024年						2025年		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
		VOLCANO JOURNEY ツアーコンテンツ設計 主体事業者・関連事業者とのミーティング等実施			Kammui ADVENTURES にて一般販売開始			
		bile.hike ツアーコンテンツ設計						
		モニターツアー Tom Sacks ほか1名 VOLCANO JOURNEY グランピングツアー	モニターツアー Isa Spalter ほか1名 VOLCANO JOURNEY グランピングツアー	モニターツアー 海外バイヤー2社 VOLCANO JOURNEY プレゼンテーション	Life's An Adventure より2025年度ツアーの 具体的商談>実施見込	台湾 JR TIMES メディア掲載 モニターツアー受入 (2025年4月掲載)	モニターツアー 有識者3名 bile.hike SOUSOU グラベルツアー	
					映像制作 Isa Spalter モニターツアーを撮影・編集 2分50秒 (×1本)・0分15秒 (×2本)			
		雑誌 TRAILHEAD 取材・出版 掲載ページ 60 頁超 発行部数：15000 部		海外バイヤー商談会 事務局イベント (東京)	台湾市場に向けた プレゼンテーション (台北)		豪州旅行会社 台湾旅行会社 商談プレゼンテーション	
					日本市場に向けた プレゼンテーション (東京・大阪・京都)			
	登山道保全作業 携帯トイレプースの管理・運営			登山道保全に関する 専門家研修・調査 来年度に向けた実証		国立台湾体育運動大学 学生向けガイド研修	WAFI 資格取得研修 (環境省 主催)	サイクリングツアー に関するガイド向け 技術講習会
事務局キックオフ ミーティング (那須)			Leave No Trace グローバルサミット 研修参加	事務局中間報告 ミーティング (阿蘇)	阿蘇くじゅう国立公園 ツアー商品造成 現地訪問・踏査 現地事業者打ち合わせ			

アクティビティ / ツアー造成関連

プロモーション・販路開拓関連

その他 (現地調査・研修等)

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

1) ツアータイトル

Glamping on the Bonsai Trail : Bandai-Asahi National Park

2) ツアーのストーリー

● Head copy

This immersive four-day adventure in Bandai-Asahi National Park offers a unique glimpse into Japan's rich bonsai culture and breathtaking volcanic landscapes. Your adventure includes a luxurious camping experience within the park and two nights in one of the oldest ryokans in a historic onsen town.

磐梯朝日国立公園でのこの4日間のアドベンチャーでは、日本の豊かな盆栽文化と息を呑むような火山の景観を垣間見ることができます。このアドベンチャーには、国立公園内での贅沢なキャンプ体験と、歴史ある温泉街にある最も古い旅館の1つでの2泊が含まれます。

● Highlights

1) Dive into Living Bonsai Heritage

Learn the centuries-old art of Japanese bonsai cultivation, rooted in Bandai-Asahi's natural beauty and volcanic landscapes.

1) 「盆栽」に関する奥深い伝統に触れてみよう

磐梯朝日国立公園の自然の美しさと火山の景観に根ざした、何世代にもわたる日本の盆栽芸術に触れてみましょう。

2) Luxury Camping Amongst the Pines

Spend a night camping inside the national park, with a chef-prepared meal amidst Bandai-Asahi's serene wilderness.

2) 五葉松の森の中でグランピング

磐梯朝日の静寂な自然の中で、シェフが調理した食事を楽しみながら、国立公園内でのキャンプをお楽しみください。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

3) Rejuvenate Your Senses

Rejuvenate in a historic onsen, savoring local craft beer and sake, while soaking up Japan's timeless culture.

3) 五感をリフレッシュ

歴史ある温泉でリフレッシュし、地元のクラフトビールや日本酒を味わいながら、時代を超えた日本文化に浸りましょう。

● About

Embark on a unique opportunity to learn from traditional bonsai masters and see up close the rugged landscapes that inspire their art. Bonsai artisans seek to express the beauty of nature through bonsai trees, emulating the weather-beaten forms of wild Azuma Goyomatsu, a species of white pine native to Bandai-Asahi National Park. The bonsai culture here is unique, with each bonsai starting with a seed taken from within the national park and nurtured by artisans for up to 100 years. After learning about this art form, you will hike into the park and explore its natural calderas and volcanic landscape.

伝統ある盆栽園の作家から文化を学び、彼らの芸術にインスピレーションを与えてきた厳しい自然の中の風景を間近で見てください。盆栽職人は、風雨にさらされた野生の吾妻五葉の姿を捉え、盆栽という表現を通してありのままの自然の美しさを表現しようとします。この地に伝わる盆栽文化は独特で、盆栽の苗を作るための種子は国立公園内の特別に許可を得たエリアで採取されており、古い樹は間もなく 100 年になります。この盆栽という芸術について学んだ後、国立公園をハイキングし、東吾妻エリアに点在するカルデラなど火山の風景を楽しみましょう。

● What's included

- Two nights of accommodation at a traditional Japanese inn
 - One night of luxury camping with chef-prepared meals
 - Three days of guiding by a local expert guide
 - Pick up to and from JR Koriyama Station
 - All transportation
 - All meals
- 伝統ある日本式の旅館での宿泊 2 泊
 - シェフが調理する食事付きのグランピング 1 泊
 - 地元の専門ガイドによる 3 日間のガイド
 - JR 郡山駅までの送迎
 - その他すべての交通手段
 - その他すべての食事

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

● Bandai-Asahi National Park, Tohoku

Bandai-Asahi National Park is located in the northeastern Tohoku region of Japan, famous for its serene yet rugged landscapes. The park is centered around the towering Mount Bandai and the surrounding volcanic landscapes shaped by its historic eruptions. The park features shimmering lakes like the Goshikinuma (Five Colored Ponds), where the waters shift hues depending on the sunlight and minerals, creating a magical, otherworldly atmosphere. Hiking trails of varying difficulty wind through dense forests, past serene waterfalls, and across volcanic terrain, with opportunities to encounter unique wildlife while enjoying sweeping views.

磐梯朝日国立公園は、日本の東北地方北東部に位置し、穏やかでありながらも厳しい気候によって形成された自然景観が有名です。この国立公園では磐梯山など歴史的な火山噴火によって形成された景観を楽しむことができます。また、日の当たる角度によって色鮮やかに水面の色が変化する五色沼などの湖沼群も多くみられます。国立公園内には様々な難易度のハイキングコースがあり、深い森、荘厳な滝、火山の爆裂口などの壮大な景色や、野生動物との遭遇なども楽しむことができるでしょう。

● Guide

KEISUKE

Keisuke is a mountain cameraman and adventurer. He has competed in ultra-long distance bikepacking races over several hundred kilometers in Alaska and other Arctic regions. Since 2020, he has been developing long trail routes and mountain tourism projects in Bandai-Asahi National Park (including the Volcano Trail). He is currently an ambassador for Karrimor International and is passionate about regional development, local culture and environmental preservation.

ケイスケは山岳カメラマンであり冒険家です。アラスカやその他の北極圏で数百キロに及ぶ超長距離バイクパッキングレースに出場しています。2020年からは磐梯朝日国立公園（ボルケーノトレイルを含む）でロングトレイルルートや山岳観光プロジェクトの開発に携わっています。現在はカリマーインターナショナル、のアンバサダーを務めており、地域開発、地元文化、環境保護に熱心に取り組んでいます。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

3) ツアー行程

Day 1:

Dive into Japanese Bonsai Culture

Visit the farm and workshop of a three-generation family-run bonsai nursery established over 90 years ago, integral to the origin of Japanese bonsai culture. In the evening stay at one the oldest onsen towns in this area, with a history dating back 1,200 years. Dinner at the inn is delicacies from around the country, and local sake is free for enjoying in the cypress wood baths.

日本の盆栽文化に浸る

90年以上前に設立され、日本の盆栽文化の起源に欠かせない三世代にわたる家族経営の盆栽園を訪れます。夜は、この地域で最も古い温泉街の1つに宿泊します。この温泉街の歴史は1,200年前に遡ります。旅館での夕食は県内各地の食材を使用しており、地酒を無料でお楽しみいただけます。

Day 2:

The Bonsai Trail and Luxury Glamping

Your guide will take you on a light hike to Bandai-Asahi National Park, where you can explore the incredible calderas that make up the park and the white pine tree formations that have inspired generations of bonsai artists. At the end of the day, unwind in a comfortable, private tent set up for you right in the park. There you will be treated under the stars to an outdoor meal using the best of the local seasonal produce, prepared by a team of chefs onsite.

BONSAI TRAIL とラグジュアリーなグランピング

同行するガイドが磐梯朝日国立公園のハイキングにご案内します。散策するエリアでは、大きなカルデラ湖や、何世代にもわたり盆栽作家にインスピレーションを与えてきた五葉松の森を歩くことができます。一日の終わりには、公園内のキャンプエリアで快適でプライベートなテントでくつろぎましょう。そこでは、星空の下で、地元の旬の食材を使った最高の料理をシェフチームが調理し、屋外テラスでお楽しみいただくことができます。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

Day 3:

Sunrise Over the Mountains

Wake up early to the awe-inspiring sight of a majestic sunrise over a volcano before you sit for another personally prepared meal. After finishing breakfast, your guide will take you on a longer hiking to explore other natural highlights in the area. By the early afternoon return to your onsen inn for another soak in the hot springs accompanied by a refreshing serving of local craft beer or sake.

山の上から眺める日の出

早起きして火山のクレーターから眺める荘厳な日の出を楽しみましょう。その後、朝食を終えたら、ガイドと一緒にハイキングに出かけます。午後の早い時間には温泉宿に戻り、地元のクラフトビールや日本酒を飲みながら温泉に浸かりましょう。

Day 4:

Departure

Before departing for Tokyo by bullet train, you have the option to visit a local sake brewery or take a short woodland hike.

出発

新幹線で東京へ戻る前に、地元の酒蔵を訪問したり、温泉街の近くでの短いハイキングを楽しんだりすることができます。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

4) 宿泊施設

Accommodations :

Accommodation is split between glamping in the national park and staying at a traditional Japanese inn. For the first and final nights, you will be staying at Oyado Hana-Kanzashi, a traditional wooden inn located at the foot of Mount Adataro in the hot spring town of Dake Onsen. Oyado Hana-Kanzashi is the oldest inn in the town and has been rebuilt many times preserving its traditional characteristics while maintaining a wonderful sense of comfort. All baths, including the open-air baths in your rooms, are from natural spring water. For the second night, you will be glamping at Jododaira Campground, situated inside Bandai-Asahi National Park. A personal chef will prepare dinner and breakfast onsite, allowing you to enjoy locally sourced ingredients while immersed in the serenity of nature.

宿泊は国立公園内でのグランピングと、歴史のある日本旅館での宿泊になります。初日と最終日の宿泊は、安達太良山の麓、岳温泉街にある伝統的な木造の温泉旅館「お宿 花かんざし」です。お宿 花かんざしは町で最も古い旅館で、古い木造の建屋をいりノベーションしながら快適な室内空間を保っています。客室の露天風呂を含むすべてのお風呂は天然温泉です。2日目の宿泊は、磐梯朝日国立公園内にある浄土平野営場でグランピングをします。専属シェフが夕食と朝食を現地で用意し、自然の静けさに浸りながら地元の食材をお楽しみいただけます。

5) 催行期間

May ~ October 5月~10月

6) 販売価格

¥550,000~/person (3 nights, 4 days) 550,000~/人 (3泊4日)

7) ツアー販売 旅行会社

Kammui inc. 株式会社 Kammui

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

8) ツアー販売サイトのイメージ (1/3)

<https://kammui.com/adventures/bandai>

ADVENTURES
Glamping on the Bonsai Trail: Bandai-Asahi National Park

This immersive four-day adventure in Bandai-Asahi National Park offers a unique glimpse into Japan's rich bonsai culture and breathtaking volcanic landscapes. Your adventure includes a luxurious camping experience within the park and two nights in one of the oldest ryokans in a historic onsen town.

Open Dates May - October	Length 3 nights, 4 days	Location Bandai Asahi National Park, Tohoku Region	Price ¥550,000~ /person
-----------------------------	----------------------------	-------------------------------------------------------	----------------------------

[Send Inquiry](#)

Highlights

Highlights

Dive into Living Bonsai Heritage

Learn the centuries-old art of Japanese bonsai cultivation, rooted in Bandai-Asahi's natural beauty and volcanic landscapes.

Luxury Camping Amongst the Pines

Spend a night camping inside the national park, with a chef-prepared meal amidst Bandai-Asahi's serene wilderness.

Rejuvenate Your Senses

Rejuvenate in a historic onsen, savoring local craft beer and sake, while soaking up Japan's timeless culture.

About

Embark on a unique opportunity to learn from traditional bonsai masters and see up close the rugged landscapes that inspire their art.

Bonsai artisans seek to express the beauty of nature through bonsai trees, emulating the weather-beaten forms of wild Azuma Goyomatsu, a species of white pine native to Bandai-Asahi National Park. The bonsai culture here is unique, with each bonsai starting with a seed taken from within the national park and nurtured by artisans for up to 100 years.

After learning about this art form, you will hike into the park and explore its natural calderas and volcanic landscape.

What's included

- Two nights of accommodation at a traditional Japanese inn
- One night of luxury camping with chef-prepared meals
- Three days of guiding by a local expert guide
- Pick up to and from JR Koriyama Station
- All transportation
- All meals

8) ツアー販売サイトのイメージ (2/3)

<https://kammui.com/adventures/bandai>

About


Embark on a unique opportunity to learn from traditional bonsai masters and see up close the rugged landscapes that inspire their art.

Bonsai artisans seek to express the beauty of nature through bonsai trees, emulating the weather-beaten forms of wild Azuma Goyomatazu, a species of white pine native to Bandai-Asahi National Park. The bonsai culture here is unique, with each bonsai starting with a seed taken from within the national park and nurtured by artisans for up to 100 years.

After learning about this art form, you will hike into the park and explore its natural calderas and volcanic landscape.


What's included

- Two nights of accommodation at a traditional Japanese inn
- One night of luxury camping with chef-prepared meals
- Three days of guiding by a local expert guide
- Pick up to and from JR Koriyama Station
- All transportation
- All meals



Bandai-Asahi National Park, Tohoku


Bandai-Asahi National Park, Tohoku



Bandai-Asahi National Park is located in the northeastern Tohoku region of Japan, famous for its serene yet rugged landscapes. The park is centered around the towering Mount Bandai and the surrounding volcanic landscapes shaped by its historic eruptions.

The park features shimmering lakes like the Goshikinuma (Five Colored Ponds), where the waters shift hues depending on the sunlight and minerals, creating a magical, otherworldly atmosphere. Hiking trails of varying difficulty wind through dense forests, past serene waterfalls, and across volcanic terrain, with opportunities to encounter unique wildlife while enjoying sweeping views.

Guide



KEISUKE

Keisuke is a mountain cameraman and adventurer. He has competed in ultra-long distance bikepacking races over several hundred kilometers in Alaska and other Arctic regions.

Since 2020, he has been developing long trail routes and mountain tourism projects in Bandai-Asahi National Park (including the Volcano Trail). He is currently an ambassador for Karimor International, La Sportiva, and Salsa Cycles and is passionate about regional development, local culture and environmental preservation.

Itinerary

8) ツアー販売サイトのイメージ (3/3)

<https://kammui.com/adventures/bandai>

Itinerary

Day 1: Dive into Japanese Bonsai Culture

Visit the farm and workshop of a three-generation family-run bonsai nursery established over 90 years ago, integral to the origin of Japanese bonsai culture.

In the evening stay at one the oldest onsen towns in this area, with a history dating back 1,200 years. Dinner at the inn is delicacies from around the country, and local sake is free for enjoying in the cypress wood baths.



Day 2: The Bonsai Trail and Luxury Glamping

Your guide will take you on a light hike to Bandai-Asahi National Park, where you can explore the incredible calderas that make up the park and the white pine tree formations that have inspired generations of bonsai artists.

At the end of the day, unwind in a comfortable, private tent set up for you right in the park. There you will be treated under the stars to an outdoor meal using the best of the local seasonal produce, prepared by a team of chefs onsite.



Day 3: Sunrise Over the Mountains

Wake up early to the awe-inspiring sight of a majestic sunrise over a volcano before you sit for another personally prepared meal. After finishing breakfast, your guide will take you on a longer hiking to explore other natural highlights in the area.

By the early afternoon return to your onsen inn for another soak in the hot springs accompanied by a refreshing serving of local craft beer or sake.



Day 4: Departure

Before departing for Tokyo by bullet train, you have the option to visit a local sake brewery or take a short woodland hike.




Accommodations

Accommodation is split between glamping in the national park and staying at a traditional Japanese inn.

For the first and final nights, you will be staying at Oyado Hana-Kanzashi, a traditional wooden inn located at the foot of Mount Adatara in the hot spring town of Dake Onsen. Oyado Hana-Kanzashi is the oldest inn in the town and has been rebuilt many times preserving its traditional characteristics while maintaining a wonderful sense of comfort. All baths, including the open-air baths in your rooms, are from natural spring water.


For the second night, you will be glamping at Jododaira Campground, situated inside Bandai-Asahi National Park. A personal chef will prepare dinner and breakfast onsite, allowing you to enjoy locally sourced ingredients while immersed in the serenity of nature.



Send us an inquiry and we can design your next Kammui Adventure in Japan.

[Send Inquiry](#)

More Adventures



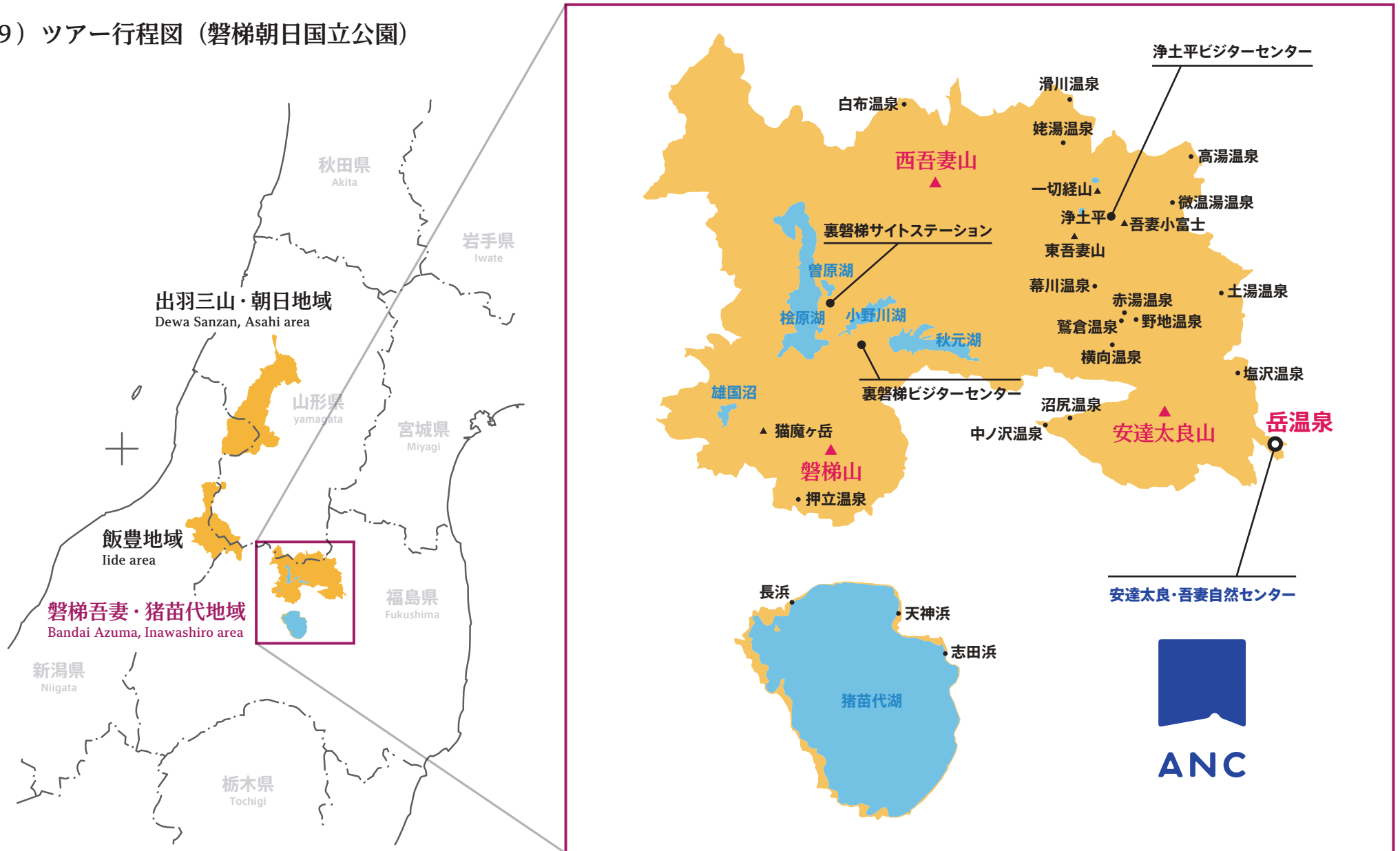
磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

9) ツアー行程図 (広域: 日本の国立公園)



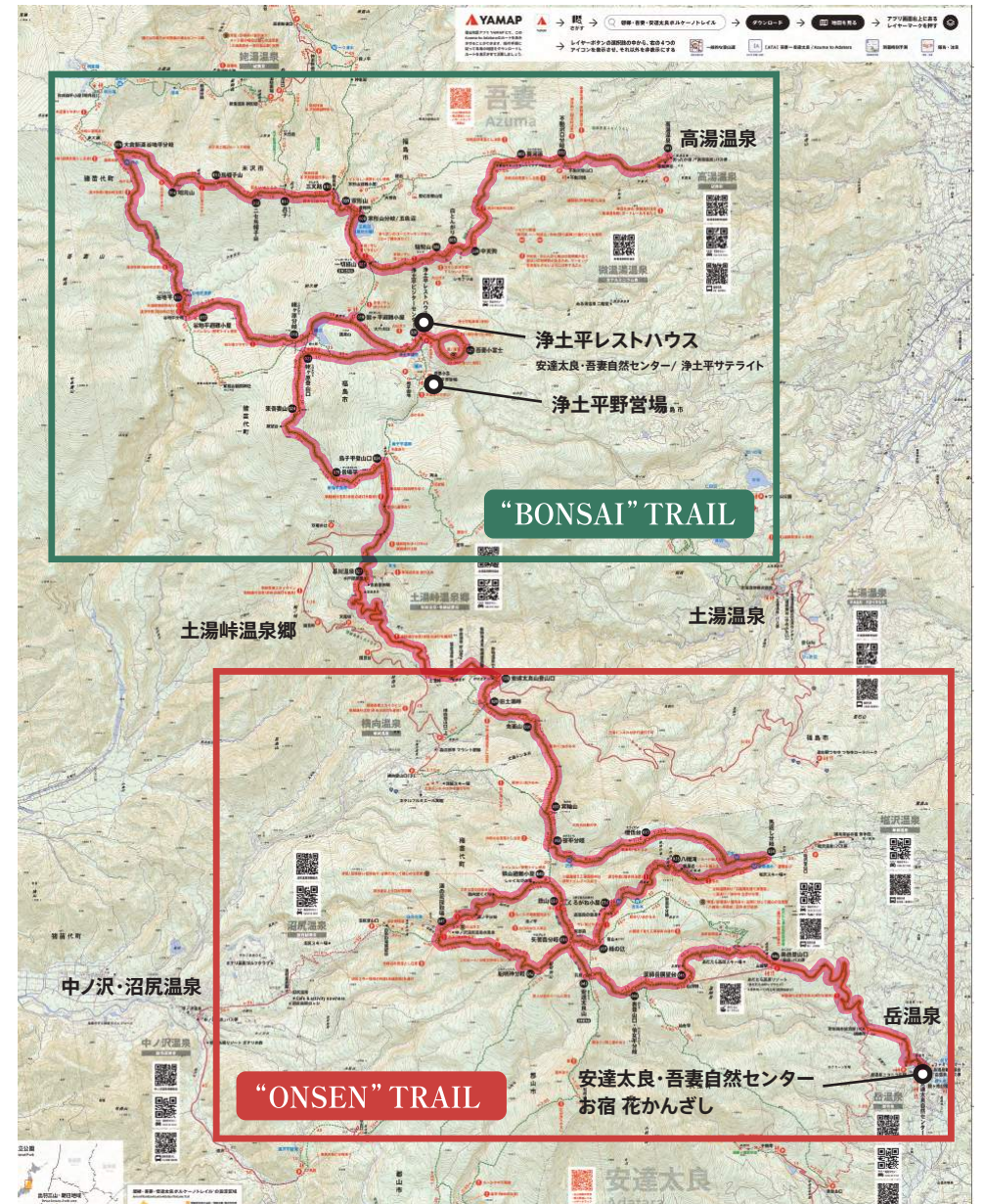
磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

9) ツアー行程図 (磐梯朝日国立公園)



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

9) ツアー行程図 (磐梯吾妻・猪苗代地域)



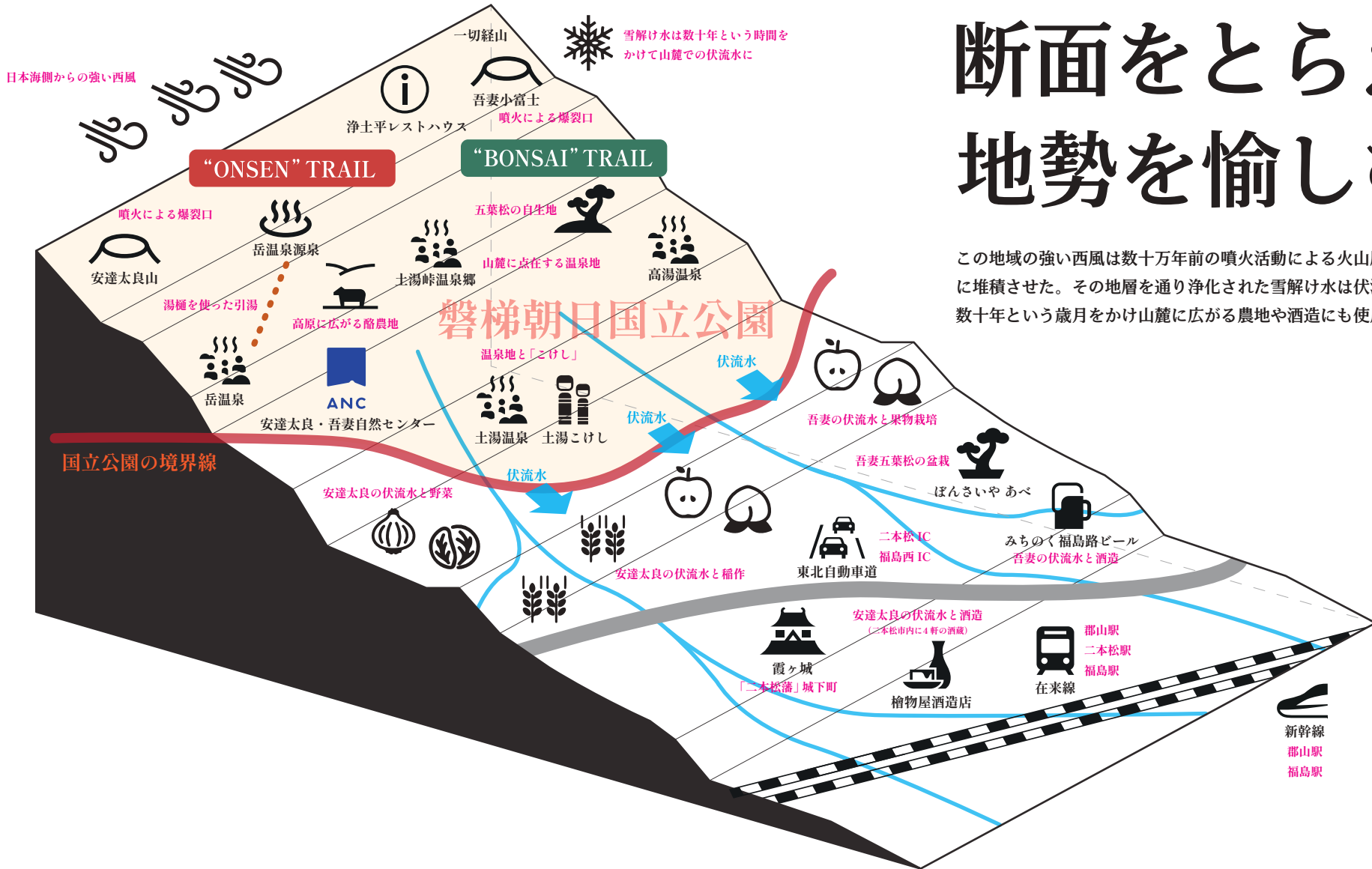
磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

9) ツアー行程図 (BONSAI TRAIL)



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

9) ツアー行程図 (ダイヤグラム)



断面をとらえ、 地勢を愉しむ

この地域の強い西風は数十万年前の噴火活動による火山灰を運び斜面に堆積させた。その地層を通り浄化された雪解け水は伏流水となり、数十年という歳月をかけ山麓に広がる農地や酒造にも使用されている。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

10) 地域の受入体制・オペレーション構築

	対象	利用する地域資源・伝えるストーリー	本事業での取組事項
宿	お宿 花かんざし	<ul style="list-style-type: none"> ・1000年続く温泉地「岳温泉」 ・岳温泉で最も古い温泉旅館の建屋 ・岳温泉観光協会を介した地域の関連事業者とのハブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド来訪者対応に向けた多言語表記等の取組み（メニュー・サイン・掲示物） ・長期滞在に対応する客室仕様の検討と実証 ・旅館宿泊業ネットワークを活用し、他の宿泊施設への送客など予約のハブ機能としての働き
	浄土平野営場	<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園内にあるキャンプ施設 ・自動車アプローチすることができる利便性の高さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド来訪者対応に向けた多言語表記等の取組み（令和7年度に実施） ・ツアーでのグランピング利用に対応した予約形態の受け入れ
ガイド	歩く東北研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・民間型ビジターセンター「安達太良・吾妻自然センター」の共同運営 ・対象地域に潜在するストーリーの掘り起しと可視化 	<ul style="list-style-type: none"> ・Leave No Trace グローバルサミットに参加し、世界水準のガイドスキルの習得を目指す ・Wafa (Wilderness Advanced First Aid) 資格の再取得を行い、安全管理スキルの向上 ・磐梯吾妻・猪苗代地域の国立公園スルーガイドのネットワーク作り
	ぼんさいや あべ	<ul style="list-style-type: none"> ・100年、三世代にわたって継承されてきた吾妻五葉の盆栽文化 ・吾妻五葉の自生地および代々伝わる盆栽の手本となる五葉松の保全 ・芸術でありながら生き物でもある自然由来の芸術文化の過去と未来 	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻五葉の盆栽の歴史に関する情報整理 ・インバウンド来訪者の受け入れ体制の強化（安達太良・吾妻自然センターとの運営連携の強化） ・他地域におけるプロモーションイベントの実施（東京・大阪・京都/R7年度は 仏 開催予定）
	浄土平レストハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・「BONSAI TRAIL」の旅の起点となる浄土平 ・浄土平の中でも最も人が滞留する有人施設 ・浄土平の施設（天文台・ビジターセンター）間のハブ的な立ち位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・安達太良・吾妻エリアの環境保全寄付を含むオリジナル製品の販売 ・各種イベントにおける会場の無償貸し出し ・VOLCANO JOURNEYに関する情報を発信する常設展示コーナー作りの検討
食事	檜物屋酒造店	<ul style="list-style-type: none"> ・二本松市の老舗酒蔵のひとつ ・安達太良山の伏流水を使用した酒造り ・日本酒の作り手による水と酒についての解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーにおけるインバウンド来訪者向けのガイド対応 ・ツアーで使用するガイドコンテンツの多言語化
	浄土平レストハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・地元食材を用いたメニュー開発の実践 ・浄土平エリア唯一の飲食店 ・地域産品を販売する売店機能 	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド来訪者対応に向けた多言語表記等の取組み（令和7年度に実施）
	お宿 花かんざし	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアの中で地域食材を最も使用した食事を提供 ・地酒（日本酒・クラフトビール・ワインなど）の提供と販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域食材の料理メニュー開発（旅館提供・グランピング含む） ・地酒とのペアリングメニューの開発 ・野営場におけるグランピング対応可能なシェフのネットワークづくり
ランド オペレーター	歩く東北研究所	<ul style="list-style-type: none"> ・磐梯吾妻・猪苗代地域のDMC的なポジション ・エリアを跨いだ関係者の接点作り ・民間型ビジターセンター「安達太良・吾妻自然センター」の共同運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアーの企画・実施を行うことによりインバウンド対応におけるニーズと課題を把握 ・地域の各種関係事業者との意識レベルの協調とビジネス連携の強化 ・磐梯吾妻・猪苗代地域の国立公園スルーガイドのネットワーク作り
	インアウトバウンド東北	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方における幅広い活動領域 ・インバウンド来訪客を中心とした旅行手配の経験値 ・民間型ビジターセンター「安達太良・吾妻自然センター」の共同運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・AT販売の海外バイヤーとの接点を持つことにより、今後の販売商品を含む販路拡大を図る ・福島県における関係事業者とのネットワーク強化 ・安達太良・吾妻自然センターを活用したガイド研修等を含む国内 BtoB ビジネスの強化
交通	昭和タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざした交通インフラ ・日本版ライドシェアを運用している福島県唯一の法人 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本版ライドシェアによる国立公園内の拠点間交通インフラ強化（令和7年度に実施検討開始）

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

11) インバウンド対応における工夫点 (1/2)

■ ストーリー

- ・「そこにしかないもの」に焦点を絞り、それを基軸とした登場人物の選定およびストーリー展開を検討。
- ・食事や宿泊を含めて国立公園での自然体験と感じていただけるように、滞在期間中に提供する点と点を繋げて話題提供できるよう脚本を構成。

■ ガイディング

- ・電子デバイスを活用し、映像 / 写真 / 図解等を用いた解説を行うことにより、言語の壁を少しでも補完できるよう工夫。
- ・壮大な景色を味わってもらうため、危険箇所以外は来訪客に先頭を歩いてもらうなど、経験価値の小さな積み重ねを考慮。
- ・ツアー全体の概要を現地到着時の冒頭にブリーフィングすることで、到達するイメージの共有を図るとともに、認識の齟齬を最小化。
- ・メインガイドは、山歩きなどの案内だけでなく、食事や宿泊施設についても事前に把握した上で同行しコンシェルジュ的な役割を果たすことで来訪者との関係性を構築。
- ・ガイディング時の立ち止まっての解説は長くなりすぎないように心掛け、必要な補足などは歩きながらや休憩時などの会話に織り交ぜる。

■ 行程

- ・スケジュールを過密に詰め込み過ぎず、余白を十分に取った行程の計画。
- ・天候や参加者の体調等に応じてフレキシブルに変更可能な余地を織り込んだ設計。
- ・WEB 上のアイテナリーはあくまで基本パターンであり、オーダーベースで組み替えできるような行程のモジュール設計

■ 地域食材

- ・地域食材、地酒を提供側のエゴで無理に多用するのではなく、生産方法や品質なども含め適正なものの中から、地域の産品をできるだけ織り交ぜたメニューを開発。
- ・地域食材を使用する場合は、その全てを説明はしないものの、問われれば回答ができるよう、提供側のスクリプトを準備。
- ・キャンプ場におけるグランピング時の食事提供に関しては、そのエリアの雰囲気を感じられるよう、地域産品を中心に設定し起承転結を考慮。

■ 地域関係者等との接点の創出

- ・提供するストーリーの中心となる登場人物は、できる限り本人が登場することができるよう、ツアー商品造成時に「スポットガイド」=有償業務として登用。
- ・ツアー中に使用する地域の飲食店等を選定する場合には、できるだけ店主の顔が見える（ツアーの主旨に賛同し協力）店舗を事前に選定。

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

12) 現地調査

阿蘇くじゅう国立公園

「活火山」をテーマとした日本の国立公園の旅を提供するために、日本で最も有名な火山観光スポットである「阿蘇くじゅう国立公園」の阿蘇山をピックアップした。日本最大級の火山爆裂口を有する安達太良山と阿蘇山を共通項にしうながらも、東北と九州の食を含む気候風土地の違いを楽しんでもらえようよう宿泊場所や山歩きのルートなど現地調査も含め令和7年度にモニターツアーを構成できるレベルまで調査検証を実施。プロモーション用の写真撮影なども実施した。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

12) 現地調査

JAPAN VOLCANO JOURNEY (仮称)

「日本の国立公園 × 活火山」というテーマでフィルタリングし、共通するテーマを元に脚本化された越境型の連携ツアーを展開するべく、ターゲットとなる地域とストーリーの調査を開始し、地域を越え連続性を持たせることによるシナジーを発揮する国立公園ツアーを目指し、令和7年度には複数の具体化案が提示できるよう検討を行う。

地域	国立公園	活火山	調査状況
北海道	知床	知床硫黄岳 ■ 羅臼岳 ■ 天頂山 ■	2021年度より本事業以外で調査を開始
	阿寒摩周	雌阿寒岳 ●▲ 雄阿寒岳 ▲ アトサヌプリ ● 摩周	
	大雪山	大雪山 ● 十勝岳 ●▲※ 丸山(東大雪丸山)	
	利尻礼文サロベツ	利尻山	
	支笏洞爺	羊蹄山 樽前山(風不死岳を含む) ●▲ 恵庭岳 有珠山 ●▲※ 倶多楽(登別) ●	
東北	十和田八幡平	八甲田山(北八甲田) ● 十和田 ●▲ 八幡平 秋田焼山 ● 岩手山 ●▲ 秋田駒ヶ岳 ●	
	磐梯朝日	吾妻山 ●▲ 安達太良山 ● 磐梯山 ●※	
関東	尾瀬	燧ヶ岳	
	日光	日光白根山 ● 高原山 那須岳 ●▲ 男体山	「日本三大五葉」関連で2025年度より調査予定(那須岳)
	富士箱根伊豆	富士山 ●▲■ 箱根山 ●※ 伊豆東部火山群 ●※ 伊豆大島 ●▲※ 利島 新島 神津島 ● 三宅島 ●▲ 御蔵島 八丈島 ●	
	小笠原	西之島 ■	
	上信越高原	草津白根山 ●▲ 浅間山 ●▲※	
中部	妙高戸隠連山	新潟焼山 ● 妙高山	
	中部山岳	弥陀ヶ原(立山) ●▲※ 焼岳 ●▲ アカダナ山 乗鞍岳 ● 鷲羽・雲ノ平	
	白山	白山 ●※	
四国	大山隠岐	三瓶山	
九州・沖縄	阿蘇くじゅう	阿蘇山 ●▲※ 九重山 ●▲ 由布岳 鶴見岳・伽藍岳 ●	2024年度 本事業にて調査を実施
	西海	福江火山群 ※	
	雲仙天草	雲仙岳 ●▲※	
	霧島錦江湾	霧島山 ●▲※ 桜島 ●▲※ 若尊 開聞岳 池田・山川	
	屋久島	口永良部島 ●▲	

[吾妻山・那須岳]
日本三大五葉 / 盆栽文化のストーリー (盆栽)

[安達太良山・阿蘇山]
日本最大級の爆裂口を有する活火山をめぐるストーリー (温泉・水・災害)

- : 活火山のうち、気象庁が選定した「常時観測火山」(2019年10月現在)
- ▲ : 活火山のうち、文部科学省が選定した「重点観測火山」(2019年10月現在)
- : 「世界遺産」地域に含まれる活火山(2019年10月現在)
- ※ : 「ユネスコ世界ジオパーク」または「日本ジオパーク」に含まれる活火山(2022年2月現在)

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

12) 現地調査

JAPAN VOLCANO JOURNEY (仮称)

「日本の国立公園 × 活火山」というテーマでフィルタリングし、共通するテーマを元に脚本化された越境型の連携ツアーを展開するべく、ターゲットとなる地域とストーリーの調査を開始し、地域を越え連続性を持たせることによるシナジーを発揮する国立公園ツアーを目指し、令和7年度には複数の具体化案が提示できるよう検討を行う。

令和7年度 国立公園における感動体験・アドベンチャートラベル創出事業に採択された場合には、2024年度事業にて調査を行った「阿蘇くじゅう国立公園」と「磐梯朝日国立公園」を結ぶ火山旅のモニターツアーを実施。

その他、本事業のコンセプトを共にする採択事業者地域の方々とも協議を行い、他地域連携を視野に入れたVOLCANO JOURNEYの企画・プロデュースにチャレンジし、複数地域の事業者が集まるこの国立公園事業のシナジーを活かしたプロジェクトを推進する。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

13) モニターツアー

Tom Sacks / VOLCANO JOURNEY モニターツアー (1)

日程：2024年9月7日(土)～8日(日)：1泊2日

参加：Tom Sacks (アメリカ) / Ted Chang (韓国)

体制：安達太良・吾妻自然センター / ぼんさいや あべ

スルーガイド：一瀬圭介 (安達太良・吾妻自然センター)

同行：Kammui / マックス マッキー

行程：DAY 1: BONSAI TRAIL ハイキング・グランピングディナー

DAY 2: BONSAI TRAIL ハイキング・盆栽園の見学および体験

目的：国立公園内の野営場にてグランピングを挟んだ2日間のハイキング体験を「盆栽」をテーマに実施。野外での食事提供を含めた旅のプロトタイプ実証。

F/B：インバウンド来訪者を想定したファーストトライとして実施し、同行したKammuiより、ガイドングにおけるインバウンド対応でのポイントをOJTいただいた。ハイキングとグランピングを組み合わせたプログラムに関しては、浄土平野営場を拠点とし、ナイトタイムや早朝時間を有効に活用した国立公園体験のプロトタイピングを実施する事ができた。Tom Sacksから終了後にいただいたF/Bで「自然の中に身を置き、ノイズのない世界で過ごすこの時間自体に経験価値がある」というコメントは今後のツアー造成の軸となるものであり、ツアー造成時のチェック項目の最上位に据える。



Ian Spalter / VOLCANO JOURNEY モニターツアー (2)

日程：2024年10月12日(土)～14日(月)：2泊3日

参加：Ian Spalter (アメリカ) / Caroline Thomas (フランス)

体制：安達太良・吾妻自然センター / ぼんさいや あべ / お宿花かんざし

スルーガイド：一瀬圭介 (安達太良・吾妻自然センター)

同行：Kammui / マックス マッキー

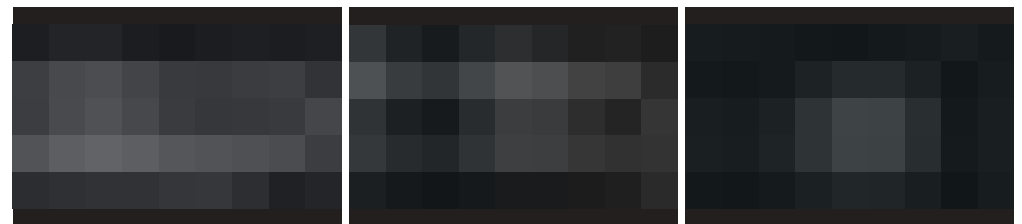
行程：DAY 1: ONSEN TRAIL ハイキング (源泉見学)

DAY 2: BONSAI TRAIL・グランピングディナー・盆栽園見学 / 体験

DAY 3: ONSEN TRAIL ハイキング

目的：前回のモニターツアー検証をベースに「ONSEN TRAIL」を加えたパターンの検証を実施し、令和7年度～の販売商品のアイテナリー検証を行う。

F/B：本来3泊4日の日程で実施する内容を2泊3日で実施し、映像撮影のロケも並行させて行ったため、タイトな行程となったが、温泉・盆栽のトレイルツアーを一連の流れで実施する場合の検証ができた。モニターツアー(1)でフィードバックがあったガイドングやグランピングディナーに関するポイントをブラッシュアップして実施。このツアーでのフィードバックを元に令和7年度～の販売商品企画を行い、KammuiよりADVENTURESより2024年12月にWEB上での商品販売を開始した。



磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

13) 保護と利用の好循環

「活用：保全 = 50% : 50%」

「活用：保全 = 50% : 50%」をブランドプロミスとし、アドベンチャートラベルなど国立公園の利用日数と、登山道整備や携帯トイレブースの運用などを含む環境保全や、次世代のガイドやレンジャー育成などに費やす割合を等分（またはそれ以上）とし、次世代への継承を含む持続可能な国立公園の利活用のあり方を考え、その仕組みづくりを行う。令和6年度に積み立てた再投資額は、約100万円（うち70万円が賛同企業からの寄付や協賛金）となり、令和7年度の活動より、本事業を実施する安達太良・吾妻エリアの環境保全や人財育成の基金としての再投資を開始する。



環境保全への再投資

- ・ ツアー・イベントの売上の5～20%を国立公園の「環境保全費」として積み立てを行い、期中に精算金額と実施内容をSNS等を通じて公表。
- ・ 販売価格に対する保全費の割合を商品販売時に明示することにより、参加者が商品購入の時点で当該地域における環境保全への参加意識を醸成。
- ・ 各種イベントにおける企業・団体等からの協賛金等は、経費を除き全額を環境保全費として還元。
- ・ 安達太良・吾妻自然センターの活動に賛同する会員制度を作り、個人・企業会員を募ることによるネットワークの強化と会費の25%を環境保全費へ充当。
- ・ グッズの販売など特定商品の物販売上は、売上金額の10%～利益分全額までの範囲で、公園内の環境保全費として計上。

人財育成への再投資

- ・ 将来的にこの地域でのガイドを希望している台湾の体育大学生をインターンシップ生として受け入れ、ガイド育成プログラムを実施。
- ・ 地域の小学校にて、自分たちが暮らす国立公園の自然についての授業を実施。
- ・ 地域の大学との連携により、国立公園の動植物についてのフィールド観察や調査を通じて、大学が行っている研究成果を地域に還元するとともに、大学生のOJTの機会を創出（R7年度より具体化）。
- ・ 地方における人財確保が難しい時代背景において、副業やワーケーション等による労働形態やボランティアワークとしての人財が活躍するための場を提供し、必要に応じてナレッジの共有も図る。

13) 保護と利用の好循環



〜猪苗代湖にも進む

ATA) に続く西吾妻かでも、日々検討を進め中心にガイド活動をしそのメンバーのひとより安達太良・吾妻ターでのガイド研修にいて、活動拠点でも山周辺のトレイルにつを行なう時間もつっまた現在販売されてい公式地図も更新中で、英語／繁体字の3カ国に制作し販売を開始すはこれまでと同じく説を予定しており、そ環境保全費用500円が



金さんに聞くボルケーノの魅力

ボルケーノ女子を略した「ボル女」を名乗った第1号であり、火山大好きな金裕香さん。もともと猪苗代出身だが、大学進学で上京して卒業後はカナダ留学をした。帰国後、東京の通訳会社に勤務するも、北塩原村地域おこし協力隊となって地元へUターンしてきて火山に目覚めた。「磐梯山噴火記念館の佐藤館長から火山のことを教えてもらいうちに、『火山性ウイルス』におかされてしまったんです(笑)。火山地形を眺めているとストーリーが浮かび、妄想力をかき立てられます。福島には活火山が5つもあり、磐梯・吾妻・安達太良エリアは常時観測地点。そんな活発な活火山が密集していて車を1時間走らせたら回れてしまうのが、福島県の最大の魅力だと私は思います。

VOLCANO TRAIL Information

さらにボルケーノトレイルを楽しむための「周辺&関連情報」



「活用:保全=50:50」 使うための保全&保全する人財を育てる

安達太良・吾妻自然センターのブランドプロミスとして「活用:保全=50:50」を掲げている。自然の活用と保全を等価に考え、人が自然を使わせていただく分量を、自らの手で保全し

ていく考え。その「保全」には、登山道整備といった具体的な修繕もあれば、将来にわたり「活用:保全」のバランスを図りながら活動し続けるための人材育成も含まれる。現在注力しているのは、安達太良山における「登山道の保全」と「携帯トイレプースの運用」。急速に崩壊が進む登山道をどのように、そしてどこまで人の手をかけて維持していくのか、そして山岳地帯での「トイレ問題」も同様に、いずれにしても、それを正面から考え実施する「人」が必要なため、まずは自然が何を求めているのかの観察に時間を費やし、イベント等を通じてそれを支えるための仕組みづくりも行なっている。



環境保全を考えるプログラム
“活火山と、●●●”をシリーズ展開



雑誌 TRAILHEAD 掲載記事：本事業における活動事例

13) 保護と利用の好循環



環境保全への再投資で運用されている携帯トイレブース（安達太良山・くろがね小屋付近）と専用トイレキット

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

13) 保護と利用の好循環



環境保全への再投資で運用されている安達太良山での登山道保全（専門家の招聘も含む）作業と、作業履歴のデータベース化

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

13) 保護と利用の好循環



本事業における活動事例（アウトドアブランドとの協働イベントの開催 / インターンシップによる自然センターの環境保全事業への参画）

磐梯朝日国立公園 | ツアー・アクティビティの造成

13) 保護と利用の好循環



TRAILHEAD

環境保全を考えるプログラム “活火山と、●●●”をシリーズ展開



活火山とともにある、このエリアの国立公園の自然や文化をより身近に、より深く感じてもらうための取り組みとして、“活火山と●●●”シリーズを2024年度より開始。まずはボルケーノトレイル周辺エリアでの展開として「吾妻山」「安達太良山」に関わるテーマの深掘りを行なっている。すでに実施済みの企画として【vol.01：活火山「吾妻山」と、ホシガラス】【vol.02：活火山「吾妻山」と、ツキノワグマ】があり、いずれの回も専門家を交えて、机上での講義と野外でのフィールドワークを組み合わせたプログラムとしている。次回の企画は【vol.03：活火山「吾妻山」と、火山

観測点】。「吾妻山」と「安達太良山」は、いずれも気象庁が24時間体制で火山監視を行なっている常時観測火山。山肌に設置されているさまざまな観測点を気象台の専門家と一緒に巡り、吾妻山の火山観測についての探究を行なう。



雑誌 TRAILHEAD 掲載記事：本事業における活動事例（大学や研究機関とのコラボレーション）

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

ターゲット設定

1) 自然・歴史・文化の魅力を経験価値として対価換算できる来訪者層

本事業で提案している「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」ツアーによる自然体験は、いずれも体験料だけを支払って数時間～終日で終わるアクティビティではなく、インタープリテーションを含む土地のストーリーを味わう滋味深いコンテンツであり、日帰りですべてを体験できる設定にはしていない。宿泊または繰り返しの訪問により、国立公園の自然、そしてその自然資源に繋がる文化や土地の人々との接点を含む経験価値を求め、その対価を感じることができる来訪客をメインターゲットとしている。最低1泊2日～3泊4日を想定し、インバウンド（欧米豪・台湾）を含むターゲットを見据えて商品造成を行う。また、日本国内に対しても未発表のストーリー体験であるため、国内在住者の中にもターゲットとなる潜在顧客が多く存在すると考えている。

● メインターゲット：インバウンド（欧米） / 富裕層の中でも日本文化に興味があり、自然体験を嗜好する層

- Kammui の WEB サイトでの募集とすることでターゲット顧客への振り分けを行い、問い合わせベースで実施日程や詳細プログラムの構成をオーダーメイドする。
- 販売価格の設定は、3泊4日の体験で55万円/人～（受け入れ人数は、2名～最大6名まで）

2) ロングトレイルを通じてインタプリテーションの魅力を普及

本事業で造成するツアーは1) で記載したターゲットにフォーカスしていくものの、そのようなインタプリテーションによる魅力に気づき、そのような旅としての国立公園の利用をはじめの契機を提供していく必要があると考えている。2023年にリリースした「磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル®」ATA: Azuma to Adatararouteは、ロングディスタンスハイキングのルートであるとともに、「BONSAI TRAIL」、「ONSEN TRAIL」を楽しんでもらうための仕掛けを盛り込んだ設計になっており、歩くための計画を立てる段階で、そのようなストーリーに必然的に触れるよう、情報提供のあり方や地図提供の仕方など含めコントロールしている。ATAルートは、歩くスピードを想定すると旅程的には、最低2泊～4泊を想定しており、そのためには宿泊場所を含め綿密な準備・計画が必要になり、歩き始める前から必然的にこの地域の情報を調べたり、多くの場合、安達太良・吾妻自然センターとの接点が発生するようになる。このような機会を通じて来訪者とのコミュニケーションを図っていくことができるため、いわゆる「登山」とは違い、来訪者のCRMを集積することもできる。

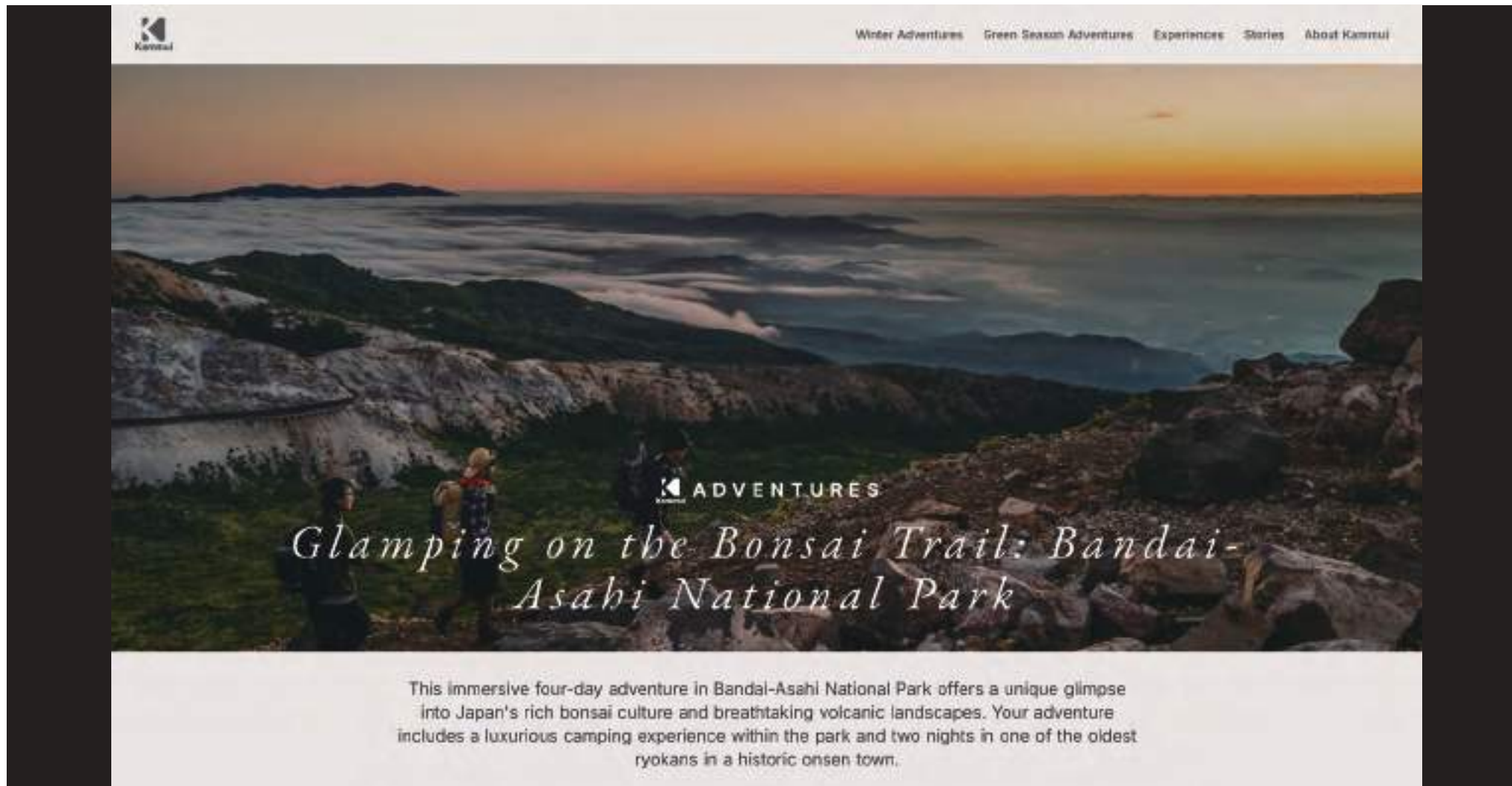
● メインターゲット：国内外のロングディスタンスハイキング（登山ではなく街や自然歩道を繋ぎ歩く）を嗜好する層

- ガイドツアーとしてだけでなく、セルフサポートによるハイキングを実施する人もターゲットに含まれる。直接的な販売による利益追求ではなく、このVOLCANO JOURNEYに関する興味をより広く拡散し、次世代の担い手の発掘も含めてブランディングし、この地に根付く自然体験のあり方の一つとしての確立を目指す。

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (WEB)

<https://kammui.com/adventures/bandai>



・ Kammui ADVENTURES の WEB 販売サイトを安達太良・吾妻自然センター撮影画像などを用いて Kammui チームと共同制作 (2024 年 12 月リリース)

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

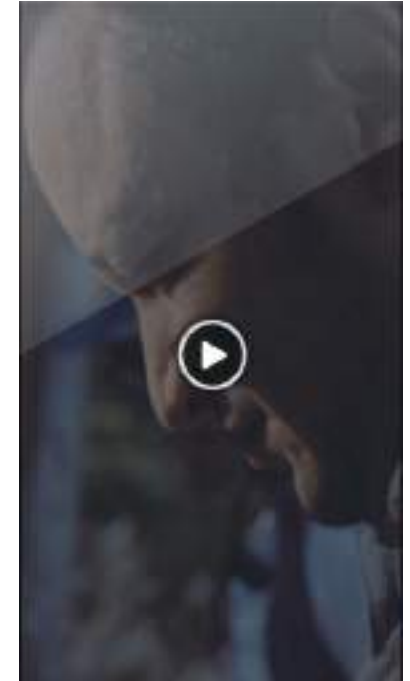
プロモーション（映像）



- ・WEB / SNS 掲載用 = 横型 16:9
- ・映像尺 = 02:50



- ・SNS 掲載用 = 縦型 9:16
- ・映像尺 = 00:15



- ・SNS 掲載用 = 縦型 9:16
- ・映像尺 = 00:30

- ・内容（全てに共通）= Ian Spalter が体験したモニターツアーそのものを同行撮影し収録した素材により構成。Ian Spalter の体験後のインタビュー音声をボイスバックに、実際の体験イメージを編集。令和7年度のツアー販売に向けて、2024年12月にリリースした、販売サイト(Kammui ADVENTURES) や SNS に掲載し集客を図る。※本映像は事業費を使用して制作
- ・次年度に向けては、安達太良・吾妻 自然センターによる四季を通じた国立公園の情景を映像化し、SNS を通じてより短いピッチでの映像プロモーションを実施していく（2025年3月よりすでに実施）。

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (広告)



・ナショナルジオグラフィック TRAVELLER 誌にて、本事業で造成したツアー販売に関する広告を掲載 (Kammui inc. / Kammui ADVENTURES)

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (雑誌)



・雑誌 TRAILHEAD vol.5 にて、表紙および巻頭特集 60頁掲載。この火山旅におけるインタープリテーションを中心に記事を構成。出版部数：15,000

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション (SNS/ instagram)



- ・「安達太良・吾妻自然センター」の公式 instagram (adatara_nc) にて、1日1投稿ペースで VOLCANO JOURNEY に関する投稿を中心に掲載
→ 本事業の実稼働 (7月)～2025年2月末までの8ヶ月でフォロワー 約1400人増 / 各種イベントの告知も instagram からの投稿が最も反応が高い

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

プロモーション・販売チャネル

本事業で造成した VOLCANO JOURNEY のツアー（セミオーダーメイド型の高付加価値）商品に関する販売チャネルは、株式会社 Kammui とのチームで企画・販売を進め、それ以外の国内外のバイヤーによるプロパー商品に関する窓口を株式会社インアウトバウンド東北にて取りまとめる。

安達太良・吾妻自然センター

(全体プロデュース)

歩く東北研究所

(企画・ガイド)

インバウンド向け高付加価値ツアー商品

株式会社 Kammui

(企画・販売・手配)

Kammui ADVENTURES サイトにて個人への販売をおこなう

国内外向けプロパーツアー商品

株式会社インアウトバウンド東北

(販売・手配)

国内バイヤー

⋮

⋮

海外バイヤー

⋮

⋮

募集型イベント関連

磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® : ロングトレイルに関する各種イベントなど

磐梯朝日国立公園 | 販路開拓・プロモーション

販売実績（本年度）

- ・本資料 P30 に記載のモニターツアー「Tom Sacks / VOLCANO JOURNEY モニターツアー（1）」での販売実績のみ
- ・本事業で造成したツアー商品の実施は令和7年5月（雪解け）以降

収益目標

	R6（実績）			
販売単価（円）	200,000 (モニターツアー)			
販売人数（人）	2			
売上（円）	400,000 (モニターツアー)			
営業利益（円）	0 (モニターツアー)	※ツアー実施のための備品購入経費や準備資金に使用しているため営業利益としての計上はない		
営業利益率（%）	0 (モニターツアー)			
保全再投資（円）	0 (モニターツアー)			

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

アクティビティ・ツアー造成

令和6年度 国立公園における感動体験創出事業

実施

- ・「BONSAI TRAIL」「ONSEN TRAIL」を軸としたコンテンツ造成
- ・商品として販売するためのガイディングや、受け入れ体制づくり
- ・ツアー会社を通じた海外富裕層向け商品のリリース(販売開始)

課題

- ・インタープリテーションの深掘り 1：言葉を越えるビジュアル化、多言語化
- ・インタープリテーションの深掘り 2：盆栽・温泉 以外の潜在コンテンツの掘り起し
- ・インタープリテーションの深掘り 3：ガイディングの手法開発、スキルアップ
- ・来訪者のニーズを想定した JAPAN TRAVEL の1つとしての魅せ方
- ・他地域との連携を図り俯瞰視点で自地域を含めた評価をすることによる水準の底上げ



令和7年度 国立公園における感動体験・アドベンチャートラベル創出事業

挑戦

- ・複数の国立公園の事業者が集まるプロジェクトであるからこそそのチャンスを活かす
- ・国立公園を管理する環境省主導のプロジェクトであるからこそそのチャンスを活かす
- ・令和6年度事業を経て感じるインタープリテーションの不足箇所の穴埋めと底上げ

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

令和6年度に造成した「ふくしま火山旅」の販売・ツアー実施実績の積み上げ



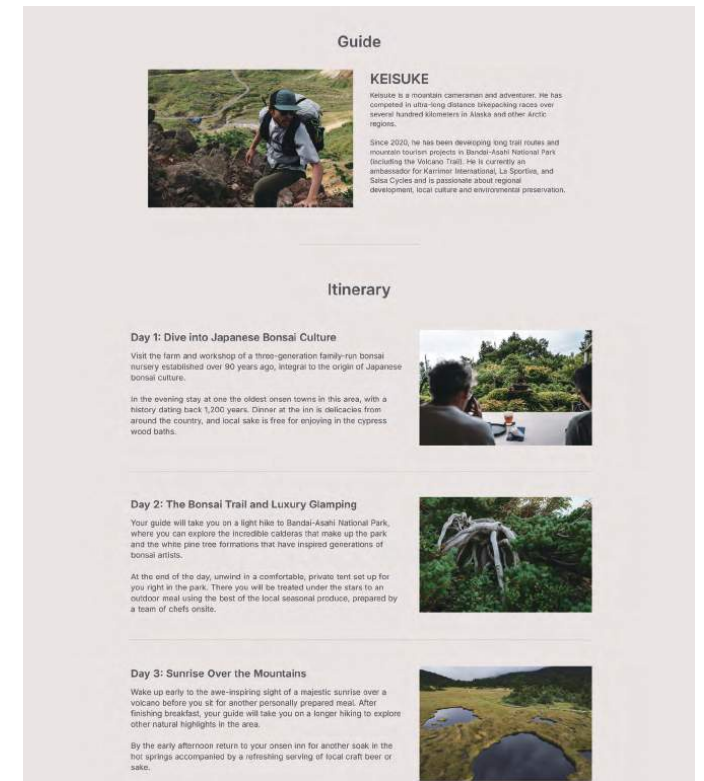
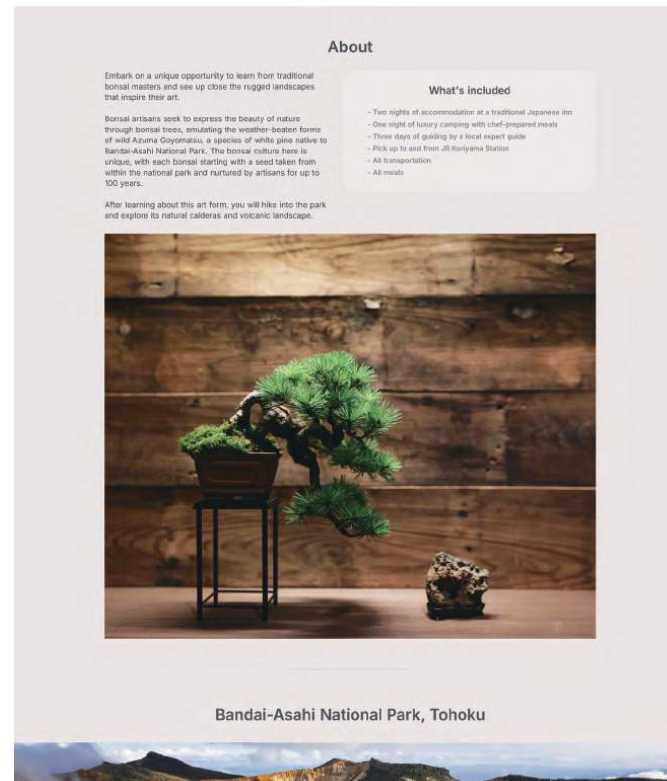
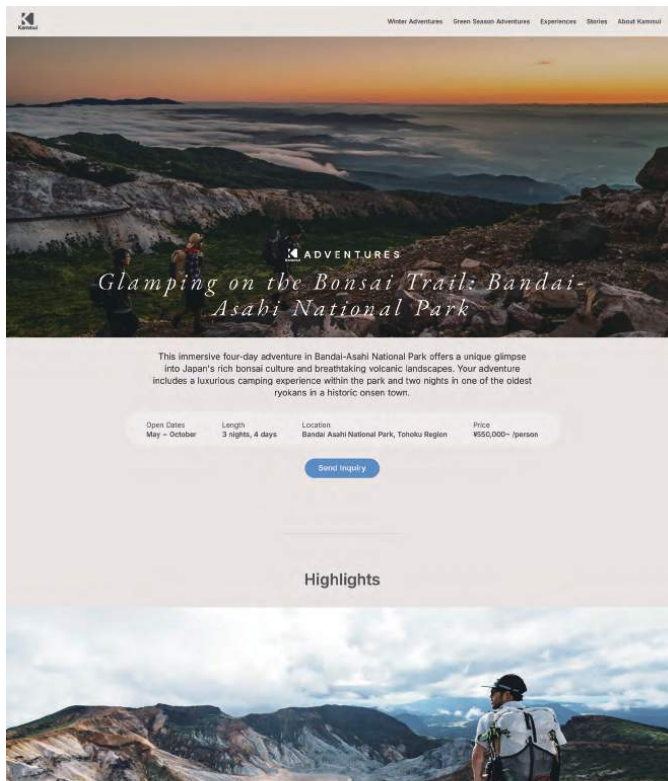
● 具体的な取り組み

・ Kammui ADVENTURES にて販売を開始したインバウンド富裕層向け火山旅ツアーの受注（モニターツアー以外）を目指し実施に至るまでのツアー完遂を目指す。

→ 販売者：株式会社 Kammui

→ 基本行程3泊4日：55万円~/名（株式会社 Kammui が販売する上代）

→ 問い合わせがあってからのセミオーダー型のツアー形態 <https://kammui.com/adventures/bandai>



磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

ふくしま火山旅：BONSAI TRAIL、ONSEN TRAIL における経験価値向上の探求と、インタープリテーションの深化

● 具体的な取り組み

令和6年度内は一旦ツアーを造成し販売に漕ぎ着けることに注力したが、令和7年度には商品の販売と並行して、より質の高いレベルのガイディングを目指すため各コンテンツに関する情報の掘り起し(文献などの資料等を含む)と記録を行い、必要に応じてガイドツールなどへの落とし込みを図る。

→ 「外国語対応を越えるビジュアルコンテンツ」を目標に、ツアーにおけるインタプリテーションを言語だけではなく映像、画像、図解等を用いることで、よりユニバーサル性の高い見せ方ができるよう、コンテンツを作りこむ

→ 関連する各分野の有識者とセッションを複数回実施する。インタプリテーションの深化のための取り組みでありながら、この国立公園プロジェクトに興味のある地域メンバーなども参加することができるオープンな場を提供することで、このような国立公園プロジェクトに接する関係人口の拡大を図っていく。



磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

ふくしま火山旅：BONSAI TRAIL、ONSEN TRAIL における「ビジュアルベース」/「ストーリーベース」の映像制作

● 具体的な取り組み

- ・ SNS での使用やバイヤーとの商談、ツアー販売時の掲載サイト等に必要に応じて挿入することが可能な、短編映像制作のための素材撮影（四季を通じて撮り溜め）。
 - ・ ビューティーカットをメインとした「ビジュアルベース」の映像クリップ集の制作。
- ムービー撮影時には高解像度のスチール撮影も行い、安達太良・吾妻自然センターや、吾妻エリアのサテライト「浄土平レストハウス」の特設コーナーなどに展示。
また例えば、駅空間など来訪者のタッチポイントにもクオリティの高いグラフィックを設置するなど、国立公園と接する街の地域ブランド向上と意識レベルの底上げを目指す。
- 来訪者用の記念になるオリジナルの Photo Kit（印刷版・電子版）の制作を行い、SNS による発信などによる拡散も狙う。
- 映像クリップの BGM は、購入素材を使用するのではなく、国立公園内に棲むアーティストとのコラボレーションにより、自然音やその季節、そのエリアの景色からインスピレーションを受けて制作した地産音源を使用する。
- ・ インタープリテーションに繋がる登場人物の音声ボイスバックによる「ストーリーベース」の映像クリップ集の制作。

VISION-1 に示した「阿蘇」での取り組みに関しても、ビジュアルベースの撮影を実施

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

安達太良・吾妻自然センターのブランドプロミス「活用：保全＝50：50」の可視化 [環境保全への再投資]

● 具体的な取り組み

・ ツアーの販売や物販で得た収益を、企業経営だけでなく国立公園内のフィールド環境保全費として再投資をおこなう

→ ツアー・イベントの売上の5%～20%を国立公園の「環境保全費」として積み立てを行い、期中に精算金額と実施内容をSNS等を通じて公表していく。また、販売価格に対する保全費の割合を商品販売時に明示することにより、参加者が商品購入の時点で当該地域における環境保全への参加意識を醸成することができる。・・・①

→ 国立公園内で実施する各種イベントの協賛金等は、経費を除き全額を環境保全費に還元する。まずは第一段階としてこのような取り組み賛同（＝国立公園の自然を直接・間接的に利用する受益者という認識がある）する企業・団体・行政機関を募り、このような機会を対話のきっかけとしていく。・・・②

→ オリジナルグッズの販売など特定商品の物販売上は、売上金額の10%～利益分全額までの範囲で、公園内の環境保全費として計上（令和6年度から実施）する。
例えば、VOLCANO TRAILのオリジナルMAPは、経費を除く全額を対象としており、令和6年度の販売冊数350部×500円＝175,000円が令和7年度の保全作業費として計上される。・・・③

令和7年度の環境保全費 積み立て金額の目標数値：①＋②＋③＝100万円(以上)

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

安達太良・吾妻自然センターのブランドプロミス「活用：保全＝50：50」の可視化 [人財育成への再投資]

● 具体的な取り組み

- ・「活用：保全＝50：50」の「保全」は、環境保全費の獲得だけではなく、将来にわたって安達太良・吾妻自然センターが掲げるビジョンを共有し活動していきたいという賛同者や働き手（その候補を含む）＝人財の育成にかける割合も含まれている。
 - 将来的にこの地域でのガイドを希望している台湾の体育大学生をインターンシップとして受け入れ、ガイド育成プログラムを実施（令和6年度より大学との覚書を交わし具体的な取り組みを開始）。
 - 地域の小学校において、自分たちが暮らす国立公園の自然についての授業を実施（教育委員会からの依頼による）。
 - 福島大学 農業学類との連携により、国立公園の動植物についてのフィールド観察や調査を通じて、大学が行っている研究成果を地域に還元するとともに、大学生のOJTの機会を創出していく（令和7年度より具体化）。
 - 地方における専門分野における人財確保が難しい時代背景において、副業やワーケーション等による労働形態やボランティアワーク（交通・宿泊経費等の提供含む）としての人財が活躍する場を提供していく。そのための具体的な取り組みとして、令和7年度より安達太良・吾妻自然センターが実施する活動に参画していただくための会員制度を発足し、宿泊場所の提供や費用補助等を行うことによって、まずはこの地域に繰り返し通い交流する人の接点拡大を図っていく（令和7年1月より施行）。

次世代を担う人財確保ができるよう、時間をかけてネットワークを拡大していく

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

「日本版ライドシェア」の仕組みを活用したアドベンチャートラベル来訪者の「移動」に関する課題解決に向けた実証

- ・課題1) 物理的な移動を要する旅において「交通」はバーチャルの世界では成立しない。ただし山間部の地方都市になると公共交通機関の有無や運行時間の制限、そして運行ルートに関しても通勤・通学の利用をベースに構成していることから、山間部でのアドベンチャートラベルの来訪客の利便性に合わせたダイヤ設定は現実的に難しい。
- ・課題2) バスや鉄道での移動の隙間を埋めるタクシーにおいてもドライバーの高齢化や減少によって、運行時間や台数が限られていることなどから、都市部から離れた山間部までの迎車が困難であったり、荷物などの運搬も含む積載容量と乗車人数の問題に苛まれることが多くなっている。また、外国人観光者とのコミュニケーションの障壁もあり、移動における経験価値を高められないばかりか、いくら美しい自然の景色があったとしても、アプローチの難しさから行き先候補から外れる可能性もある。

● 具体的な取り組み

- 福島県での運用実証がはじまった「日本版ライドシェア」を活用し、安達太良・吾妻自然センターのガイドがドライバー資格を取得し、山間部(国立公園)専用の送迎タクシー運行の実現を目指す。
- 例えば日の出を見るための時間帯＝夜明け前の超早朝や、星空観察のためのナイトタイム利用など、タクシー配車が難しい時間帯の送迎などにも対応することが可能になる。
- 国立公園ガイドがドライバーを務めることによって、移動中の車窓から見える景色や、行く先に関する各種案内、天候や安全に関わるも情報など、アドベンチャートラベルのガイドならではの情報を提供することができる。
- ガイドとドライバーを兼務することができるようになり、移動時間を含めマネタイズすることができるようになる。

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

プロモーション・販路開拓

令和7年度中に「**国立公園オフィシャルパートナー**」締結を目指し、より広く国立公園の魅力発信を行っていく

● 具体的な取り組み

- ・令和7年度中に「オフィシャルパートナーシッププログラム」申請をおこなう。
- ・日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、人々の自然環境の保全への理解を深め、地域の活性化につなげる。

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

想定販売ツアー

- ・ Kammui ADVENTURES にて販売を開始した インバウンド富裕層向け火山旅ツアーの受注（モニターツアー以外）を目指し実施に至るまでのツアー完遂を目指す。
 - 販売者：株式会社 Kammui
 - 基本行程 3泊4日：55万円~/名（株式会社 Kammui が販売する上代）
 - 問い合わせがあってからのセミオーダー型のツアー形態 <https://kammui.com/adventures/bandai>

収益目標

	R6（実績）	R7（目標）	R8（目標）	R9（目標）
販売単価（円）	200,000 (モニターツアー)	550,000～	550,000～	550,000～
販売人数（人）	2	10	15	20
売上（円）	400,000 (モニターツアー)	5,500,000	8,250,000	11,000,000
営業利益（円）	0 (モニターツアー)	4,400,000	6,600,000	8,800,000
営業利益率（%）	0 (モニターツアー)	40	40	40
保全再投資（円）	0 (モニターツアー)	176,000	264,000	352,000

磐梯朝日国立公園 | 本年度の課題に対する次年度取組

ツアータリフ

令和7年度 販売ツアー商品

・ツアータリフは、本資料の P11~P19 に、実販売サイトのイメージ含め掲載しています。